学校番号	1101

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎　グローバル＆サスティナビリティ」　（教育図書）						
副教材等	「家庭科５５資料集」　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇今生きている青年期が生涯の礎となる時期であることをふまえ、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題について知識を学んだうえで、グループでの意見交換などを通じて友だちの考えを知ることにより、多様な価値観に気づき自分の考えを深めましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、生活上の基礎的な技術を身に付けましょう。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録・実習レポート 発表 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録・実習レポート 発表 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録・実習レポート 定期考査の結果 作品制作の結果 自己評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習記録・実習レポート 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	青年期の自立	○家庭科の学び方 ○自分を見つめる ・生涯発達の視点 ・青年期をどう生きるか ＊自己を知る ○目標をもって生きる ＊将来の生活を展望する	 ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d:青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月	家族・家庭を考える	○家族・家庭を見つめる ＊家族法クイズ ＊サイレントオークション ＊ワークショップ ○これからの家庭生活と社会	○ ○	○ ○	 ○	○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 自己評価 定期考査
	高齢期の生活	○高齢者の生活と課題 ＊高齢者疑似体験 ○高齢社会を生きる ＊グループでの意見交換	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

6月 7月	子どもの発達と保育	○子どもの発達と生活 ＊保育人形を抱く ＊絵本を読む ＊折り紙 ○子どもの育つ環境	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
8月 9月	衣生活と自立	○被服の機能と着想 ○被服の管理と計画 ＊基礎縫い実習	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。 d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作物 定期考査
10月 11月	食生活と自立	○食生活の課題 ○食品と栄養 ・何をどれだけ食べたらいいのか？ ○食品の選択と保存 ○食事を整える ・調理の基礎 ＊調理実習年2回 （10月・1月）	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習記録 実習レポート 自己評価 定期考査

12 月 1 月	住生活と自立	○さまざまな住まいと暮らし方 ＊住宅広告を読む ○安全で快適な住まい ○まちづくりと住まい	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活に課題を見いだし、その解決をめざして考え適切に判断し表現している。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて理解し、安全で快適かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 自己評価 定期考査
2 月3 月	消費生活と経済／ライフスタイルと環境	○生涯の経済計画とリスク管理 ＊ローンのシュミレーション ○消費行動と意思決定 ○持続可能な消費 ○生活資源 ○キャリアを見通す ○持続可能な社会に向けて ＊ダイアモンドランキング	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。